

日常生活の課題整理シート

資料1-1

(1)子育て

山北地区

①具体的事象	②課題	③解決するための方向性	④提言書の記載内容
<p>地域の中に子育て家庭が少ない 山北地区の子どもの数が少ない 園児の減少は保育園の統廃合になり地域の子育て環境が悪化する 保育園でも年齢別保育が難しい状況となる 子どもの身の周り世話は母が中心だが祖父母の協力も大きい ひとり親家庭が増加している 夫婦共働きが多い 共働きや家族全員が働いている家庭も多い 保育園、学童保育に通っている 働きながら安心して子育てできる環境がない 現在の子育て支援センター、学童保育所、放課後子ども教室が縦割り 乳幼児・土曜・延長保育、一時預かり、学童保育等、子育て環境が向上している面がある</p>	<p>子どもの減少が続いている</p>	<p>婚活の推進 地域おこし協力隊などの外部活力の積極導入 企業誘致 保育(園)制度の充実 保小中連携会議などでの連携強化 学童保育、放課後子ども教室等合同会議開催 空家の有効活用(若者の移住体験的に使える家の提供)</p>	
<p>室内で遊ぶ傾向が強い(ゲーム等) 遊び相手が近くにいないため園児や低学年児童は保護者の送迎が必要 集落内の遊び場の遊具が老朽化しているのが多い 子どもが自然にふれて遊べる安全な水辺や里山の整備がされていない</p>	<p>依然、屋内のTVゲーム等で遊ぶ傾向が強く、外で遊ぶにしても公園や安全に自然にふれられる場所などの環境が少ない</p>	<p>屋外の公園施設や水辺等の環境整備促進 屋外での遊び方講座などの開催</p>	
<p>核家族化などにより地域のつながりが希薄化している 集落内の子ども減少により、子ども同士の集団活動が困難 子ども同士の人間関係が狭く、将来が心配</p>	<p>ひとり親、核家族化等による地域のつながりが希薄化しており、かつ子どもの集団活動も少なく、人間関係が狭く将来に不安がある</p>	<p>各集落での自治活動等への参加促進 郷育等の推進 集落公民館活動等の活性化(支援)</p>	

日常生活の課題整理シート

資料1-2

山北地区

(2) 買い物

① 具体的事象	② 課題	③ 解決するための方向性	④ 提言書の記載内容
<p>集落内の商店が減少している スーパーの撤退 年配者や多忙な人は不便を感じている 車の運転ができない等、移動が困難な方が多い 山北地区で住みにくいと感じる一番の理由となっている買物問題</p>	<p>地区内で買い物する場所がなくなっている</p>	<p>スーパーの誘致 既存商店等の活性化促進 行政と企業(商店等)との連携 交通手段の確保</p>	
<p>村上・鼠ヶ関等でまとめ買いをする家が増えている 高齢者(買物弱者)が増加する一方、現役世代は車で大型スーパー等で買物する。地域での買い支え意識が少ない。</p>	<p>地区内で買い物を済ませることができない、または地区内の店に対しての愛着感が低い</p>	<p>スーパーの誘致 既存商店の品揃えの充実 新しいシステムでの店舗立上げ</p>	
<p>移動販売(地元商店、魚屋、村上豊栄鶴岡等の商店) 配送サービス(農協、生協、マックスバリュ、セブンイレブン等) 高齢者のインターネット利用者が少なく、ネットスーパー等の活用ができない。またはサービス対象外区域だったりしている。</p>	<p>移動販売、宅配等のサービスがあっても利用することができない、または利用できるものが限られる</p>	<p>高齢者等へのネット通販講習会の開催 山北地区告知端末機の利活用 移動販売車の新設</p>	

日常生活の課題整理シート

資料1-3

山北地区

(3) 交通

① 具体的事象	② 課題	③ 解決するための方向性	④ 提言書の記載内容
<p>路線バスの利用者が少ない 通学生の駅までの送迎は自家用車が多い 鉄道の利用は通学、病院通いの朝夕は多いがそれ以外は少ない 足が不自由などでバスなどを利用できない人もいる 既存の公共交通機関もダイヤ等に連携が取れていない 地区内の公共交通は利用者不足で不採算となっている</p>	<p>既存の公共交通機関の利用が少ない</p>	<p>通学時間に合わせたバスダイヤの運行 デマンドタクシーの導入 公共交通全体を考えたダイヤグラムの構築 乗降口の低い車輛の導入</p>	
<p>地区内での徳洲会送迎バスでは年配者は助かっている タクシーは自家用車がない方、高齢者には重要な手段 高齢化等により車を運転できない人が増加している 自家用車のない人は外出範囲が制限され日常生活に支障がある</p>	<p>自家用車がない人の増加とそれを補う手段が少ない</p>	<p>地域を限定した交通手段の新設 無料送迎のシステムを確立</p>	
<p>高齢者ドライバー増加により、交通事故多発につながる</p>	<p>高齢等による交通事故の増加傾向</p>	<p>免許返納の意味及び意識啓発のための講習会 高齢者向けの運転技術講習</p>	

日常生活の課題整理シート

資料1-4

(4)教育

山北地区

①具体的事象	②課題	③解決するための方向性	④提言書の記載内容
生涯学習面では各種講座やクラブ等があり、施設等の環境は良くなっている ウォーキングをする人が増えている 学び、文化・芸術に触れる機会が少ない 学びたい人が塾や教室等の選ぶ余地がない 村上地区(マナボータ)の賑いと山北地区の差を感じる	学習の施設、教室などが少ない	インターネット普及による教育動画の利用 生涯学習担当の講座の充実化 出前講座の利用促進 既存のクラブ、サークル等の周知	
児童数の減少は複式学級や学校統廃合につながる 教育環境で地域を離れる要因、さらなる少子化につながる	児童の減少による悪循環(学校統合、更なる少子化)が懸念される	郷育の推進により学校と地域の一体となる施策強化 地区内小中学校の連携(統一目標設定等)強化	
小学校と学童保育所が離れており、一つは老朽化している	学童保育所の整備	スクールバスの有効活用 既存施設の利活用 小学校内での学童保育所設置の検討	
八幡宮大祭は盛況だが、奉納相撲のお客が減少している	八幡宮奉納相撲の来客数減少	山北相撲協会との連携	

日常生活の課題整理シート

資料1-5

山北地区

(5) 行政

① 具体的事象	② 課題	③ 解決するための方向性	④ 提言書の記載内容
<p>組織改革による情報共有や連携などの検証必要 支所職員削減により、地区の行政の存在感が希薄化 支所職員削減により、行政と住民の連帯感も弱体化 少子高齢化、地域連帯感の希薄化で消防団員確保が困難</p>	<p>地区内の行政組織の弱体化</p>	<p>地区に応じたニーズを満たす支所内での担当部署新設 市職員スキルアップのための研修等の充実</p>	

日常生活の課題整理シート

資料1-6

山北地区

(6)その他

①具体的事象	②課題	③解決するための方向性	④提言書の記載内容
1次産業、観光産業の停滞	農林水産業、観光業の活性化	農林水の6次産業化の推進 山形・秋田とのきらきら羽越観光圏の強化 食と観光を一体化したPRを官民で連携し実施	
まちづくり協議会を認識しながらも不満に思う人も多い まちづくり協議会を身近に感じてもらいたい まち協担当の自治振興室職員以外との関わりが少ない	まちづくり協議会の活性化	協働のまちづくりについての検証 活動について集落総代等のみならず、集落民への周知徹底	
人口減少等による空家対策は深刻な問題	空家の利活用	持ち主が地域資産として再活用する場合に、補助制度を設ける	
市の中心部に人も金も集中し、本庁から遠い地域は衰退している 集落機能が低下し、更なる高齢化等により維持存続が困難になる	市中心部への一極集中化	集落を基本にした活性化対策の検討 小さな拠点づくり事業の検討 これまでにないコミュニティビジネスの検討・開発	
高齢者のみ世帯、独居世帯が増え、健康管理、安否確認が心配が懸念される	今後はさらに高齢者や一人世帯が増え孤独死などが懸念される	集落内でのコミュニティ、近所付き合いの啓発	
学校等の遊休状態にある固定資産の整理活用ができていない	空き施設の利活用	検討チームの設置	